

## 国内の事例

# 北海道の事例

## リアルタイム情報の一元化 ~ 防災情報共有システム ~

防災関係機関担当者の、災害現場状況のリアルタイム把握と、迅速な意思決定を支援。  
地図画面上において防災関係機関が保有する防災情報を一元化しリアルタイムに共有。



区分	共有情報内容
気象	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路テレメータ情報(国道)</li> <li>(気温、雨量、積雪、風向風速等)</li> <li>河川テレメータ情報(雨量、水位)</li> <li>地震計情報(河川・国道)</li> <li>気象レーダ(河川・国道)</li> <li>火山観測データ(北海道砂防)</li> <li>台風情報(気象台)</li> </ul>
規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>通行規制区間情報(国道)</li> <li>突発規制情報(国道)</li> <li>工事規制情報(国道)</li> </ul>
画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川・道路管理用CCTVカメラ画像</li> <li>防災ヘリ画像</li> <li>火山監視画像(北海道砂防)</li> </ul>
提供	道路情報表示板(国道)

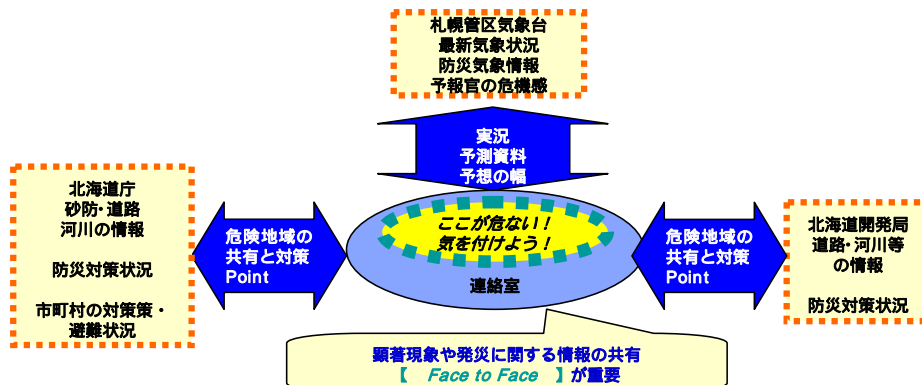
## 相互連絡体制 ~ 災害時に連絡室を設置 ~

台風接近時など大きな災害の発生が予想される前に、開発局・札幌管区気象台・北海道の関係者が参集して、気象状況・危機感などを共有。

連絡室のイメージ

台風第16号連絡室試行の様子

台風接近に伴い8月31日 8:00から17:00まで設置



## 定点観測システム

### 1 定点観測システムとは

平成12年9月の東海豪雨水害では、災害初期の情報収集に時間を要したことから、市民がボランティアとして事前登録し、近辺の災害状況についてファックス及びインターネットを活用して、市災害対策本部に情報提供するシステム。

#### 登録者

登録者... 713主体	{ <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者 ... 244事業者</li> <li>・一般市民 ... 469人</li> </ul> }	・ガソリンスタンド ... 131店舗
		・コンビニエンスストア ... 113店舗

### 2 提供していただく災害情報について 【災害状況確認（定点観測）シート】

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| (1) 水害時                | (2) 地震発生時         |
| ア 玄関先における道路の浸水状況（水の深さ） | ア 自宅（事業所）周辺の建物の状況 |
| イ 溜まっている水の状況（水位の変化）    | イ 自宅（事業所）周辺の火災の状況 |

### 3 情報を提供する時期と方法について

- (1) 情報提供の時期
- ア 玄関先の道路に水が溜まり始め、水位が変化している場合
  - イ 災害対策本部から情報提供を求められた場合
  - ウ 強い地震が起きた又はテレビ・ラジオで市内の震度が4以上との報道があった場合
- (2) 情報提供の方法
- インターネット又はFAX

### 4 提供された災害情報の活用について

提供された情報は、市災害対策本部で集約し地図表示するなど、市内の災害状況を分かりやすく表示し、初動対応に役立てる。  
また、インターネットを通じて市民の皆様にも情報提供を行う。



定点観測システム提供画面

## 和歌山県総合防災情報システム（平成19年秋稼働予定）

- ・ 県・市町村・消防本部等による速やかな防災情報の収集・配信・共有を実現し、関係機関がより緊密に連携した災害対策を実施できるようにするシステム。

